



あすなろっこ

令和7年8月1日発行
社会福祉法人岡山こども協会
あすなろこども園

〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19
TEL (086) 955-5665



まぜたら
どうなる？
実験中！

みずたまり

水あそびやどろんこあそびが本格的に始まった夏。園庭でシャワーをすると水たまりができていくことに気づき、すぐに触りに行くこともたち。豪快に寝転んだり足を泥で埋めたりとそれぞれが自分のしたいことに夢中になって遊んでいました。すると段々と小さな輪が増えていき、友だちと泥の固まりを大きくしたり、泥に埋もれたい子の元へ泥を運んだり、友だちと協力して遊ぶ姿に繋がっていきました。まだまだ水あそびやどろんこあそびを楽しんでいきたいです。

牧 文香

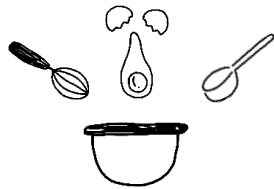
七夕会

7月3日に地域の方と一緒に七夕会をしました。
七夕にちなんだ〇×クイズをしたり、地域の方と一緒に七夕飾りを飾ったりして楽しみました。

みんなの願いが叶うといいね☆



きゅうしょくの じかん



もちもちフルンフルン♪
～ミルクずもち～



URL: <https://youtu.be/dLVlwWtAn0Y>

【材料・作りやすい分量】

- ・牛乳 300ml
- ・片栗粉 45g
- ・三温糖 5g
- ・きなこ 10g
- ・三温糖 10g

【作り方】

ぜひ QR コードを読み込んで見てくださいね！

※ご家庭で作る際は、片手鍋などを使用すると作りやすいですよ！

A は混ぜ合わせたものをできたミルクくずもちにまぶしてください。



おおきな“わ”
だより

... — ... — ... — ... — . 今月のテーマ はな組（0歳児） ～夏野菜～

「大きくなっているね」

こどもと一緒に野菜の成長過程が間近で見られるように、はな組前のテラスでオクラと枝豆を育てています。実際に収穫する時もこどもの目の前で取りました。なかなか野菜を手にとって見る機会も少ないので「どうなっているんだろう」と興味津々です。中には採れたて新鮮を一早く感じようと口に運んでみようとする姿や握って見たりする見られました。

絵本の読み聞かせや給食室の手伝いをしながらそして、楽しい食事時間に毎日しながら、いろいろな野菜に触れ食への興味が深まるといいなと思っています。 朝倉 満里奈



ゆき組（1歳児）

「おおきくなーれ！」

オクラに水やりするのが日課になっているゆき組。水あそびの際には、じょうろやカップ等の容器に水を汲んでオクラに水やりをしてくれ、小さかった葉っぱや実がみるみる大きくなってきました。立派に育ったオクラを一つ収穫し、こどもたちと一緒に触ったりにおいを嗅いでみたりと旬の食材を近くで感じることができました。

まだまだ成長途中のオクラ。こどもたちとオクラの変化と一緒に楽しみながら、引き続き水やりをして食育につなげたいです。

内田 菜月



にじ組（2歳児）



トマトも収穫できました

「採れたてきゅうりおいしいね」

こどもたちと一緒に水をあげていたきゅうりが大きくなって収穫し塩揉みや醤油で味付けして食べたりしました。どちらの方が食べやすいか見ていると塩もみきゅうりがおいしかったようで「おかわりちょうだい」と言ってたくさん食べました。少しきゅうりが苦手な子も友だちが「おいしい」と言って食べていたので、食べることができ自分たちで育てると親近感がわくのだろうな、と嬉しく思いました。

これからも、こども達と一緒に「おおきくなあれ」と水をあげて収穫し食べたいと思います。

小山 柊哉

つき組（3歳児）



「あっちに見えるのは〇〇〇!？」

裏の畑で育てているズッキーニを見に行くと、きゅうりのような長いものを想像していましたが、丸いズッキーニが実っていました。「これがズッキーニなの？」と驚きながらも、こどもたちの視線は、奥に実っているそら組のスイカ。「みんなの育てているのはズッキーニよ」と言いたくなるのですが、こどもたちの目は釘付けです。私もスイカを見ると気分が上がり、みんなで「これもう食べられるかな?」「そら組さん怒っちゃうよ」「5つあるから」という会話が面白くて、しばらくスイカの前でしゃがみこみ盛り上がりました。もちろん、つき組のズッキーニも大切に育てますよ! 影山 美穂

ほし組（4歳児）

「ふわふわだね!」

給食室の手伝いでカボチャの種取りをしました。真剣な表情でスプーンを使いゴリゴリと種を取っていくと種の周りに付いているわたに気がつきました。「ふわふわしてる〜!」「かぼちゃの方は、ねちょとしてる!」などたくさん発見がありました。みそ汁に入っているかぼちゃを見て「あ!昨日種取ったかぼちゃだ!」「おいしい〜!」と嬉しそうに完食する姿を見て自分たちで手伝ったり、作ったりすることで食への興味を育てられるのだと感じ、これからはっきり経験したいと思いました。

坂本 夕梨香



そら組（5歳児）



「わあ！こんなにできてる」

そら組では裏の畑でスイカとトマトとサツマイモを育てています。毎朝、数人ずつで水やりをしたり草抜きをしたりして世話をしています。最近は暑さもありなかなか畑へ行くことができず、大人が水やりをすることが多かったのですが久しぶりに行ってみると野球のボールぐらいの大きさのスイカが5つもできていました。「え？スイカできてるよ！」と大喜びです。「もう食べられる？」「まだ小さいから美味しくないかもよ？」など会話が弾んでいました。食べるにはまだまだ小さいスイカですが、こどもたちは大きくなったらスイカ割りやスイカ屋さんになって他のクラスにも食べてもらいたいそうです。もうすぐこどもたちの希望が叶うかな？待ち遠しいです。

岡本 未来

学童クラブ

「クッキング」

先月、収穫したじゃがいもをこどもたちと一緒にクッキングしました。好きな大きさや形に切り、リクエストに応じて塩で味付けをしました。愛着が湧いていたじゃがいもを食べることに寂しいという気持ちが芽生えている子もいましたが匂いにつられ、ぺろりと完食していました。自分たちで育て、自分たちで調理したじゃがいもは格別のようなでした。完食後はすでに畑で栽培しているスイカを食べることを待ちきれない様子でした。

原 尚平



子育て支援センター



「水やり上手になったよ！」

支援センター前の小さな畑。にじ組と一緒に植えたキュウリとトマトがおいしそうなお実をつけています。利用したこどもたちも「おおきくなあれ！」と成長を楽しみに水やりをしてくれています。他にも、カボチャやサツマイモ、とうもろこしも大きく成長していて、収穫できるのを楽しみにしています。

子育て支援センターでの、食育活動の一場面になっています。

石川 香織



こかげより（法人事務局）

施設勤務から異動してこかげの業務に携わると、改めてこかげのありがたみを実感します。こかげの存在は、さしずめ法人を支えるの縁の下の方持ちと言ったところでしょうか。

浅野 英臣